

FIN来日記念 東京シンポジウム2016

～グローバル化に向けて～

日・時:2016年5月22日(日) 10:00~15:10(受付9:00~)

会 場:東京慈恵会医科大学 大学1号館3階講堂

〒105-8461東京都港区西新橋3-25-8 電話:03-3433-1111

世話人:大橋十也 先生(東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター センター長)

参加費
無料

■プログラム■

■来賓挨拶 10:00-10:20

松原徳和氏 (厚生労働省健康局難病対策課長)

■基調講演 10:20-10:40

「ライゾーム病治療のグローバルな展開」

衛藤義勝先生 (東京慈恵会医科大学 名誉教授)

■特別講演 10:40-12:00 (同時通訳のご用意があります)

「FINの視点からのヨーロッパにおけるファブリー病患者のチャレンジとは？」

Christine Lavery FIN 会長

「ファブリー病の治療ガイドライン～ヨーロッパでの観点より」

Dr. Atul Mehta

「ファブリー病診断の論点/論争」

Dr. Derralynn Hughes

「FINの視点からの北米におけるファブリー病患者のチャレンジとは？」

Jack Jonson FSIG 会長

■教育セミナー 12:10-13:00 (予定)

(軽食をご用意しております)

■シンポジウムバーチャルファブリークリニックー 13:10-14:10

司会:大橋十也先生 (東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター 教授)

「遺伝性疾患の遺伝カウンセリング」

石田王介先生 (聖マリアンナ医科大学遺伝診療部副部長 遺伝診療)

「ファブリー病との出会い、それから」

久保田孝雄先生 (自衛隊中央病院腎臓内科 部長)

「ろ紙血を用いたファブリー病の早期診断」

中村公俊先生 (熊本大学医学部付属病院小児科 准教授)

「ファブリー病の心病変についての検討」

本郷賢一先生 (東京慈恵会医科大学循環器内科 教授)

■全体討論 14:10-15:10 (ラウンドテーブルディスカッション:医療者側、患者・家族側からの視点)

司会:酒井規夫先生 (大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻 教授)

■第18回定例交流会 15:30-17:00

会員でなくても患者さんでなくても参加出来ます。ファブリー病に関心のある方や、興味のある方はぜひご参加下さい。
なお、準備の都合上、事前に参加申込をお願いしております。(申込書は、<http://www.fabrynet.jp/>よりダウンロードしてください)

主 催:(社)全国ファブリー病患者と家族の会(別称)ふくろうの会(略称)JFA

共 催:東京慈恵会医科大学小児科 第18回JIKIアンダーソン・ファブリー病患者会

後 援:厚生労働省・茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・新潟県・山梨県・長野県・静岡県

(社)全国腎臓病協議会・(社)日本難病・疾病団体協議会・(認定NPO法人)難病のこども支援全国ネットワーク

(NPO法人)日本ライソゾーム研究センター・(財)脳神経疾患研究所附属先端医療研究センター&遺伝病治療研究所



5/21(土)FIN(ファブリー国際ネットワーク)主催の国際シンポジウム「第4回FIN Expert Meeting」にどなたでも参加できます。参加を公開しますのでふくろうの会に申し込みください。(参加費は無料)